



森ポラ 通信

第206号 2019年7月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター

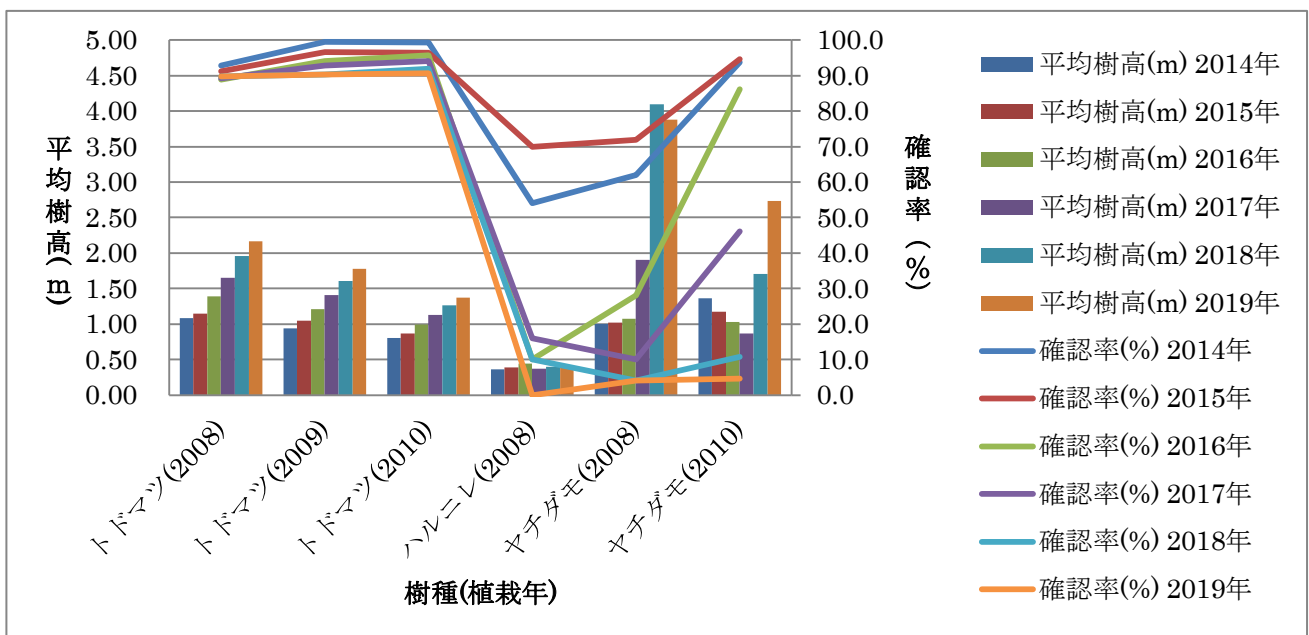
TEL (fax): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆ 『コンサドーレ 100年の森』 生長調査

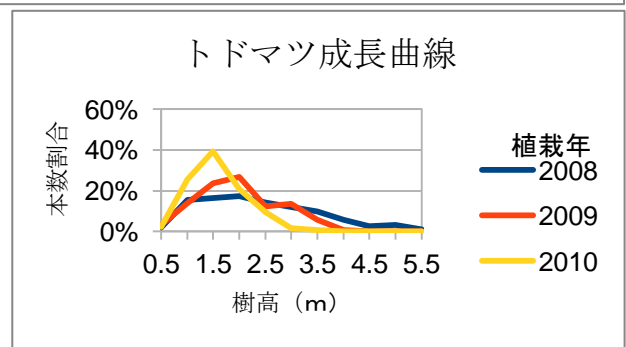
千歳市国有林5460林班(面積約11.6ha)では、2008年6月にコンサドーレ札幌(当時)と北海道森林管理局石狩森林管理署が協定を結び、当協会が当初から技術的支援並びに下草刈り、補植などの育林活動を行っています。今回は2014年から継続調査している生長調査の結果をグラフで示します。



このグラフから下記の事が考えられます。

- ① トドマツの生長は若干遅れ気味ですが、確認率も90%と順調に生育している。
- ② ハルニレ、ヤチダモの広葉樹は動物の食害と思われる影響で全滅に近づいている。
- ③ トドマツは植栽後10年を経過しても10~20%は生長が止まっている。

この結果を受けて、昨年にはヤチダモ列にトドマツを補植しました。この調査について、皆様のご意見をお寄せください。(文、グラフ・矢野、樫棒)



活動報告

◆ 澄川南小学校3年生 自然観察会 & マイツリーの選木

5月20日、今年のマイツリー予定地の森に3年生62名が来ました。先生2名と郊外活動支援者1名、元九条小学校学校林管理関係者と他1名の方が同行されました。



マイツリー予定地ではまず3班に分かれて聴診器で樹の音を聞きました。残念ながら何も聞こえなかった子がほとんどでしたが、直に触れる事で五感が働き言葉には出ない何かを感じてくれたと思います。その後、絵本の「木の音を聞く」を女の子に読んでもらい、絵本の中では“死んだお父さんの心臓の音がした”でしたが、果たして子供達はどう感じたのかな。

帰りのキャリコ橋で酒井さんからこの場所はヤチダモ、水芭蕉が生え、川にはカワニナが生息し、そのカワニナを餌にしているホタルが飛び交う話を子供たちや先生も真剣に聞き入っていました。

この日は気温が高く、帰る途中で少し気分が悪くなる子が出ました。時々休憩を取って水飲みタイムをとらなかったのが原因か？ 3年生は今年から初めての澄川の森での活動なので森歩きがきつかったかな。7月8日もマイツリーの選木に森に来るのでより気を付けて案内を心がけます。

(文・大窪)

続いて7月8日(月曜日)、3年生58名と先生3名が元気に澄川の森A-3区にやって来ました。森ボラが決められた範囲に13の樹種を前もって選んでおきました。オオバボダイジュ、イタヤカエデ、クリ、アズキナシ、エゾヤマザクラ、ホオノキ、シラカンバ、アカイタヤ、ハウチワカエデ、ハリギリ、キタコブシ、ヤマモミジ、シナノキです。それぞれに番号を付けました。

子供たちは16グループに別れ、学校で決めて来た番号の木を探し出し、高枝切りで葉っぱを切り取ってもらい木の肌とか特徴をカメラで撮ったり、メモをしたり、なかなかの取材力です。これらを基に樹名板を作成し10月頃に樹木に取り付けるためにまた澄川の森に来ます。

その後、酒井さんの「木と草の違い」のお話がありました。木が大きくなる成り方と人間の成長の違い。草も木も炭酸ガスを吸って酸素を出してくれるけれど、草は一年で枯れてしまい吸った炭酸ガスをすぐに出してしまう。木は早く成長して太くなるものより、年輪が細かく太くなるのに年数がかかって400年も生きている「ミズナラ」の様な木の方が大切だよ・・・などのお話でした。

子供達も先生も多くのメモを取っていました。質問を受けながら楽しい野外学習ができたと思います。

お天気もよく、体調を崩す子もなく元気に帰って行きました。10月、どんな作品が出来てくるか楽しみです。

(文・西野澄子)



◆ 澄川環境林水質調査報告

6月14日午後、精進川に造詣の深い青少年科学館の守屋開先生の指導により林内4か所の水質を調べました。デジタル温度計による気温、水温の測り方、水の伝導度、PH測定器の使い方、試料水の取り方等の親切な説明を受け、下流橋・キャリコ橋・上流橋・南端の火山灰採取地境界付近に入り込み、気温、水温、計測時刻、PH伝導度を測り、川石をめくり白バットに試料水を取り、生物の有無を調べ、目印に杭を打ち、小屋に戻りました。林内一周した事になります。

早速持ち帰った試料水は水質検査キットを使いCOD、リン酸、硝酸、亜硝酸、アンモニアを比色で測定して10当たりのPPM濃度の数値が得られました。





試料水には小さな川虫が見られその同定は佐野さんが担当し、測定値は後で本郷さんがまとめて公表するとのことです。慣れない初めての作業で測定値がどれだけ信頼できるのか、どれだけ通用するのか心細いところです。

この調査は年4回実施予定でどんな結果が出るのかホタルの生息と関係するのか、市内の他の生息地と比較したら面白いと思います。高校時代の生物クラブ活動気分でした。守屋先生貴重な時間をありがとうございました。

※ 水の伝導度、CODは数値が高くなるほど不純物や微生物の繁殖が進み水質汚染の目安になります。
(文・加藤)

◆ 親子森林教室森しり隊第3回活動報告

～ 木を育て森の役割を知る ～

第3回親子森林教室は澄川環境林で6月23日（日）に隊員12名、オブザーバー1名、幼児2名、保護者9名、協会員14名の総勢38名で開催されました。雨で1週間延期となった当日も前日からの悪天候で開催が危ぶまれ、小雨の中で合羽を着てのスタートとなりました。しかし、行いの良い人が多かったのか、お昼前から天気は回復し青空の中の活動でした。

薪づくり、初夏の森歩き、マイリーフ採り、森の虫を見る、種を蒔き、苗を植える、楢木の本伏せ、とたくさんの活動をしました。



整理伐した丸太を薪割りの機で薪にする



初夏の森を歩いて森の働きを学ぶ



澄川の森にいる昆虫の標本を手にとって観察



オシヨウニシとエリヤマザクラの種を蒔く



親子共同作業で35本の植樹をする



4月に植菌して仮伏せしていた楢木を運んで本伏せ

高野さんが作ってくれた澄川の昆虫の標本を、目を輝かせて見入る隊員達の様子がとっても印象的でした。

(文・佐野)

■ 図書コーナー

番号	図書名	編者	発行所	本体価格(円)	購入年月
64	『森林未来会議』	熊崎実、速水享、石崎涼子	榊築地書館	2,400	2019/7

■ お知らせ

長年にわたり当会活動に尽力された 杉本 茂さん(享年80歳)が6月25日逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

■ 今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・佐野・釣井・三橋・矢澤・矢野

- 2019年8月、9月スケジュール(8月幹事会8月7日(水))
- 親子森林教室:第3回報告及び第4回(7/21)スケジュール変更:炭焼きが出来なくなりました。
- 森林・山林多面関係:事業の進捗状況報告。モニタリング調査研修会参加(6/24 市山、樫棒)
- 澄川環境林右精進川の水質検査:6/14 実施。次回は10月4日予定。(8月に協会独自で実施予定)
- 研修旅行:9月25～27日:現地対応と参加状況
- 報告 ① 6/11,12 支笏湖水明郷・コンサの森:列杭の打設、下草刈り、生長調査を実施
② 6/27,28 支笏湖烏柵舞の森:列杭の更新、下草刈り。北海道 CGC 谷口部長視察
- 各専門委員報告 ① 広報委員会:Dropbox(現場写真共有)の活用方法を試行
②助成委員会:2019年度ローソン緑の募金助成が承認されました
- 現場対応他
 - 7/10,11 支笏湖復興の森・ぶんぶんの森:下草刈り、生長調査。道新広報室中村さん視察。
- その他 ①「北海道森と緑の会」が取り組む「お宝エイド募金」への協力について
② 2019年6月会計報告

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
6月16日(日)	澄川	—	第3回親子森林教室は雨の為順延
6月18日(火)	有明	10	風倒木整理、下草刈り
6月20日(木)	澄川	9	作業道の草刈り (B・E地区、下流橋)
6月23日(日)	澄川	15	第3回親子森林教室(マキ割、植樹、マリーフ作り)
6月25日(火)	澄川	15	作業道の草刈り、ホダ場整備、マイツレ準備
6月27,28日	烏柵舞(7&11)の森	19(20)	下草刈り、列杭の更新、シカンバ除伐
7月2日(火)	澄川	16	下草刈り、クズ退治、ホダ場整備
7月3日(水)	ラズ生活研究C	11	幹事会
7月5日(金)	有明	11	風倒木整理
7月8日(月)	澄川	15	澄川南小3年生(58名)マイツレ選木、下草刈り
7月10,11日	ぶんぶん(復興)の森	17	下草刈り、生長調査、風倒木整理
7月13日(土)	澄川	16	製材、マキ作り、親子森林教室準備